

■新型コロナウイルス感染症対策に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症予防の為、引き続き下記の対応を取らせて頂いております。皆様には多大なご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

- ① サービス利用前に 37.5 度以上の発熱や呼吸器症状がある場合は、利用を見合わせて頂きます。この場合、解熱後 48 時間経過して体調に異常が無ければ再利用が可能です。
- ② 入所利用者様のご面会はオンライン面会のみと致します。人数は 3 名までとし、必ずマスクの着用をお願いします。また体調不良の場合はお控え頂けます様、お願いします。
- ③ 入所利用者様の外出・外泊は原則不可です。但し、当施設の医師が受診を必要と判断した場合の外出や在宅復帰前提の外泊は可能です。
- ④ サービス利用中はマスクの着用をお願いします。
- ⑤ 家族様による洗濯物の回収、お届けは可能です。取り次ぎは午前 8 時 30 分から午後 4 時 30 分までの間とさせていただきます。

※上記対応は今後の状況の変化に応じて変更する可能性があります。ご承知おき下さい。

以上

■ 介護報酬改定のお知らせ

2021 年 4 月 1 日に介護報酬が改定された為、施設のご利用料も一部変更となりました。何卒ご理解賜ります様、お願い申し上げます。

■ スタッフブログ

広報誌だけではお伝えする事が出来ない施設での取り組みや、日々の行事等を載せています。是非一度下記 URL にてご覧下さい。

<https://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

編集後記

緊急事態宣言が解除されましたが、不要不急の外出は継続して自粛しなければなりません。皆で協力して、この難局を乗り越えましょう。

編集責任者 金子 弘幸



いづみのホームページ <https://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

介護老人保健施設いづみケアセンター



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873
TEL0493-56-6123 FAX0493-56-6124

「笑顔で在宅生活を送るために」



相談課 課長
島田 ゆかり

例年より早く桜の花が満開となり、通勤途中に車の窓越しに見える薄桃色の風景が素敵で心癒されています。日頃よりいづみケアセンターを温かく見守りご支援頂いております利用者様、家族様、地域の皆様には感謝申し上げます。

さて、今回は在宅介護生活のお話をさせて頂こうと思います。仕事と違って在宅介護に休みはありません。やらなくてはならないことが多いだけでなく気が休まらないという方もいます。大切な親御さんやパートナーだからこそ介護を頑張れるのだと思いますが、無理を重ねていたらお互いにとって良い結果を生みません。介護する側とされる側の両方にとって、ちょうど良いペース、ちょうど良い距離感を見つけることが笑顔で在宅介護生活を続けていくコツです。ご高齢の方との関わりで大切なのは、「パターン・習慣・文化を変えない」ということ。年齢を重ねにつれてどうしても新しいものに対する適応力は低下するものです。暮らしぶりを見ていると、「効率が悪い」「危なっかしい」「衛生面が心配」などと思うこともあると思います。けれども、そのことを非難したり強引に変えようとしたりすることは良いことではありません。物ごとの考え方や価値観は人それぞれです。「なんとかしてあげたい」と思ってやったことが、実は自分の価値観の押しつけになっていることもあります。たとえ掃除が行き届いていなくても、温かくバランスの取れた食事が準備できていなくても、ご本人に不満がなく命の危険がなければ問題はないのではないのでしょうか。

誰にでも自分なりに培ってきたやり方、考え方があります。それは長い人生で経験してきたことに裏打ちされているものです。できるだけご本人の「いままでどおり」を継続してあげること。要介護状態にある親御さんでも、「自分とは違う考えを持ったひとりの個人」であることを忘れなければ、過剰に介入せず適切な距離感を保って関わるができるのではないのでしょうか。その思いがあれば穏やかに接することができると思います。誰かと比べたり、昔と比べたりするのではなく、ありのままのいまを受け入れること。心の持ち方ひとつで自分達だけの「幸せな在宅介護」のカタチを見つけることもできるはずです。

私達職員も皆様のお気持ちに寄り添いながら支援させていただく所存です。介護のお困りごとがありましたら遠慮なくご相談頂ければと思います。今後ともよろしくご協力申し上げます。

施設の行事

節分の日に鬼を退治しました



無病息災を祈る節分の豆まきを行いました。鬼が登場すると「鬼は外、福は内」と恒例の掛け声と共に豆まきがスタート。豆を持つ手にも力が入ります。エイヤ〜っと鬼役のスタッフ目掛けて豆を撒いて邪気払い。ワイワイと盛況の内に終了し、一年の健康を願いました。

ひな祭りの日に甘酒とひなあられを提供しました

3月3日のひな祭りに利用者の皆様と甘酒を作りました。皆さま手慣れた手つきで酒粕をほぐし、鍋で煮込みます。昔はよく作ったわと仰いながら「少し塩が足りないね。」「砂糖をもう少し」と助言を頂きようやく完成。トロリと仕上がった美味しい甘酒に、定番のひなあられを添えて、桃の節句をお祝いしました。



通所課「春祭り」



通所課では3月15日～19日の期間、春まつりを開催しました。1年間を通して利用者がそれぞれに制作してきた沢山の作品を展示させて頂きました。本当に素晴らしい作品ばかりです。

今年度も利用者が興味のあることに取り組めるようにサポートさせて頂きます。そして更に楽しい行事を企画して参ります！



介護百人一首で優秀歌に選ばれました

(公社) 埼玉県介護老人保健施設協会が取り組んでいる介護百人一首に職員や当施設をご利用されている利用者様に応募頂きました。その結果、見事「優秀歌」と「小谷あゆみ賞」を受賞しましたのでご紹介します。

○小谷あゆみ賞

青柳薫様
「病む妻の 延命問われ 悩む我 心の葛藤 きめ難し」
(当施設の利用者様)

○優秀歌

小室よし子 「また来てね か細い声でも
(支援相談員) 聞こえます つなぐこの手に 通った心」

月岡雄一 「ありがとう かけて下さる
(介護福祉士) その言葉 明日への力 また湧いてくる」

水野香織 「ありがとう その一言が
(介護職) 嬉しくて 私もかかる 笑顔の魔法」

リハビリ通信



中庭の畑でジャガイモの種芋を植えました。立位でバランスをとって土を耕し、前かがみで種芋を植えていく。畑の経験者が多く利用者様自ら身体を動かして積極的に作業を行って頂きました。畑仕事がとても良いリハビリの機会となりました。

当施設職員が世界記録を樹立しました！！

通所課介護職の森田和裕さんが2月28日に滋賀県で開催された第76回びわ湖毎日マラソンで知的障がい者のマラソン世界記録(2時間20分7秒)を記録しました。従来の記録を2分18秒と大幅に更新しました。森田さん本当におめでとうございます。今後更なる活躍を期待しています。ファイト！！